

財形年金預金申込書 ご記入例…ボールペンで出来るだけ強くお書きください。

マンション等の場合は、部屋番号もお書きください。

ふりがなをつけてください。

1枚目、2枚目、3枚目、4枚目、5枚目に押捺ください。

お客様番号

令和 元 年 7 月 20 日

ふりがな 氏 名	キン ユウ タ ロウ 金 融 太 郎	印
住 所	〒(103-) TEL (567-2000) 中央区日本橋本石町2-1-1 ○○マンション305号	
生年月日	(昭)・平 48 年 4 月 22 日 (45才)	

財 形 年 金

区 分	貯 蓄 先 金 融 機 関 名	種 別	預 貯 金
非課税扱いの申告をする 最高限度額	所在地	最高限度額	
	名 称	百万	千 円
既に非課税扱いの申告をしている 最高限度額	名 称	5 0 0 0 0 0 0 0	
	5 百万円まで非課税の適用が受けられます。なお、財形住宅と両方に加入の場合は、財形住宅の最高限度額と財形年金の最高限度額を合計した金額が5百万円以内となるようご記入ください。		

初回預入日	令和 年 月 日	1 7 25
最終預入日	令和 年 月 日	16 3 25
毎月の預入日と額	25 日	1 0 0 0 0 0 千 円
賞与月とその預入額	6 月	1 0 0 0 0 0 千 円
	12 月	1 0 0 0 0 0 千 円
支払開始日	令和 年 月 日	19 3 25 21 回
年金支払指定口座	〇〇 〇〇 支店 当座	1 2 3 4 5 6 7
この預金の限度額	〇 百万 千 円	5 0 0 0 0 0 0 0

初回預入日は、預入を開始される月の給与支給日を記載してください。
支払開始日は、60才の誕生日以後の日とし、かつ最終預入日の6か月後の
の応当日から5年後の応当日の属する月の翌月までの間に指定してくた
さい。

支払回数は21回以上80回以下とし、支払年数を4倍した数に1を加えた数を記入してください。
(記入例は5年の場合)

ご預金者申込事項控

ご預金者用

事業主あて

私は財形年金預金をしたいので、天引預入依頼書に従い給与から天引して預入れしていただきますよう依頼いたします。

なお、預入金額等を変更するときは、あらかじめ文書をもって届けます。

金融機関あて

私は下記の事項を確認するとともに、財形年金預金規定にしたがって、財形年金預金申込書により取扱うよう申し込みます。

また、この預金に関するいっさいの事項に使用する印鑑を届けます。

記

〔ご預金者確約事項〕

1. 預入方法

この預金は、財形年金預金申込書記載のとおり初回預入日から5年以上の期間にわたって事業主が私の給与から天引し、私に代って預入れます。ただし、金額については、財形年金預金預入依頼書等により別段の申し出をした場合には、それによってください。

2. 継続預入の取扱い

この口座に預入れる各々の預金（利息を含む。以下「預入金額」という。）は、特に申し出をしないかぎり満期日後は引き続き貴店（移管が行われた場合には、当該移管後の店舗）における財形年金預金に預入れます。また、更新された財形年金預金についても同様とします。

3. 支払開始日

支払開始日は、私が60才に達する日以後の日とし、かつ最終預入日の6か月後応当日から5年後応当日の属する月の翌月までの間で、原則として1日から28日までの間を指定します。

4. 支払方法

支払開始日から3か月毎5年以上20年以下（21回以上80回以下）の期間にわたり財形年金預金申込書記載の回数により支払ってください。なお、これ以外の方法での払出しは、重度障害等の場合に限るものとします。

5. 私が貴行（金庫・組合）に届出の印鑑を押印した書類が事業主から貴行（金庫・組合）へ提出された場合は、私が貴行（金庫・組合）に正当に依頼したものとしてお取扱いください。

また、この預金の預入状況、残高等を貴行（金庫・組合）から事業主に通知されてもさしつかえありません。

6. この取扱いによって、万一紛議が生じましても、貴行（金庫・組合）にはいっさい迷惑をかけません。

以 上

財形年金預金申込書(控) (財産形成非課税年金貯蓄申告書 同申込書・天引預入依頼書 控兼用)

令和 年 月 日

お 客 様 番 号									

ふりがな			印
氏 名			
住 所	〒 (-) TEL (-)		
生年月日	昭・平 年 月 日 (才)		

財 形 年 金

初回預入日	令和 年 月 日
最終預入日	令和 年 月 日
毎月の預入日と額	日 千 円
賞与月とその預入額	月 千 円
支払開始日 支払回数	令和 年 月 日 回
年金支払 指定口座	普通 支店 当座
この預金の 限度額	百万 千 円

①

ご預金者用

区 分	貯蓄先金融機関名		種 別	預貯金		
非課税扱いの申告をする 最高限度額	所在地		最高限度額			
	名 称	支店	百万	千	円	
既に非課税扱いの申告をしている 最高限度額	名 称					
	所在地					
勤 務 先	名 称					
	所在地					
賃 金 の 支 払 者	名 称					
	所在地					
3 枚目に事業主印を押印ください。						

当金融機関の財形年金預金をお申込みいただきありがとうございます。
★この「ご預金者用控」はご預金者申込事項「控」と一緒に大切に保管してください。
★この預金を解約される時及びお申込事項を変更される時は、上記の「お届け印」でお申し出ください。

[Redacted Content]

[Redacted Content]

[Redacted Content]

[Redacted Content]

財形年金預金天引預入依頼書 (財産形成非課税年金貯蓄)
申告書勤務先控兼用)

ご事業主 殿

令和 年 月 日

お 客 様 番 号									

ふりがな			印
氏 名			
住 所	〒 (—) TEL (—)		
生年月日	昭・平 年 月 日 (才)		

財形年金

口 座 番 号									

②

ご事業主用

区 分	貯 蓄 先 金 融 機 関 名		種 別	預 貯 金		
非課税扱いの申告をする 最高限度額	所在地	支店	最 高 限 度 額			
	名 称		百万		千	
既に非課税 扱いの申告 をしている 最高限度額	名 称					
	所在地					
勤 務 先	名 称					
	所在地					
賃 金 の 支 払 者	名 称					
	所在地					
3 枚目に事業主印を押印ください。						

初回預入日	令和 年 月 日
最終預入日	令和 年 月 日
毎月の預入日と額	日 千 円
賞与月とその預入額	月 千 円
支払開始日 支払回数	令和 年 月 日 回
年金支払 指定口座	普通 支店 当座
この預金の ⑩ 限度額	⑩ 百万 千 円

★社員から事業主への申出事項
私は財形年金預金をしたいので、上記により給与から天引して預入れしていただきますよう依頼いたします。
なお、預入金額等を変更するときは、あらかじめ文書をもって届けます。

ご事業主使用欄

[Redacted Content]

財産形成非課税年金貯蓄申告書

税務署長殿

令和

年

月

日

ふりがな 氏 名		印
住 所		

下記の財産形成年金貯蓄につき租税特別措置法第4条の3第1項の規定の適用を受けたいので、この旨申告します。

区 分	受入機関の営業所等		最高限度額				種 別
非課税扱いの申告をする 最高限度額	所在地		百万		千	円	預 貯 金
	名 称	支店					
※既に非課税 扱いの申告 をしている 最高限度額	名 称						
勤 務 先	所在地						受入機関の 受理日付印
	名 称						
賃 金 の 支 払 者	所在地						○
	名 称						
※欄に記載した事項は事実と相違ありません。			勤務先の長の印				
令和 年 月 日			印				

お 客 様 番 号					

ご事業主経由で
金融機関に提出
してください。

③

金融機関用

[Redacted text block]

[Redacted text block]

[Redacted text block]

[Redacted text block]

[Redacted text block]

[Redacted text block]

財産形成非課税年金貯蓄申込書

支店殿 令和 年 月 日

ふりがな 氏 名		印
住 所		

下記の金額の財産形成年金貯蓄につき租税特別措置法第4条の3第1項の規定の適用を受けたいので、この旨申し込みます。

種 別	定期預金（措規3の11①二）					
金 額	限	百万		千		円

勤 務 先	所在地	
	名 称	

お 客 様 番 号					

口 座 番 号					

金融機関に提出
してください。

④

金融機関用

[Redacted text block]

[Redacted text block]

財形年金預金申込書 (財形年金預金印鑑届 兼用)

殿		令和	年	月	日
ふりがな 氏 名					印
住 所	〒 (-) TEL (-)				
生年月日	昭・平 年 月 日 (才)				

お 客 様 番 号					

口 座 番 号					

財形年金

初回預入日	令和	年		月		日
最終預入日	令和	年		月		日
毎月の預入日と額		日		千		円
賞与月とその預入額		月		千		円
		月		千		円
支払開始日	令和	年		月		日
支払回数	回					
年金支払指定口座	普通 支店 当座					
この預金の ④ 限度額	④	百万		千		円

⑤

預入銀行 支 店		支店		
④ 店 舗 限 度 額				
百万		千		円

金融機関
関 関

私は裏面の事項を確認するとともに貴行（金庫・組合）の財形年金預金規定にしたがって、右により財形年金を申し込みます。
なお、この預金に関するいっさいの事項に使用する印鑑を届けます。

勤 務 先	所在地	
	名 称	

(金融機関使用欄)

取扱店	店番号		担当者印	契約の証発行日		検 印	精査者印	受付者印	取引先担当者名・コード等
	店名								

〔ご預金者確約事項〕

私は下記事項を確認するとともに、財形年金預金規定にしたがって、財形年金預金申込書により取扱うよう申し込みます。

1. 預入方法
- この預金は、財形年金預金申込書記載のとおり初回預入日から5年以上の期間にわたって事業主が私の給与から天引し、私に代って預入れます。ただし、金額については、財形年金預金預入依頼書等により別段の申し出をした場合には、それによってください。
2. 継続預入の取扱い
- この口座に預入れる各々の預金（利息を含む。以下「預入金額」という。）は、特に申し出をしないかぎり満期日後は引続き貴店（移管が行われた場合には、当該移管後の店舗）における財形年金預金に預入れます。また、更新された財形年金預金についても同様とします。
3. 支払開始日
- 支払開始日は、私が60才に達する日以後の日とし、かつ最終預入日の6か月後応当日から5年後応当日の属する月の翌月までの間で、原則として1日から28日までの間を指定します。
4. 支払方法
- 支払開始日から3か月毎5年以上20年以下（21回以上80回以下）の期間にわたり財形年金預金申込書記載の回数により支払ってください。なお、これ以外の方法での払出しは、重度障害等の場合に限るものとします。
5. 私が貴行（金庫・組合）に届出の印鑑を押印した書類が事業主から貴行（金庫・組合）へ提出された場合は、私が貴行（金庫・組合）に正当に依頼したものとしてお取扱いください。
- また、この預金の預入状況、残高等を貴行（金庫・組合）から事業主に通知されてもさしつかえありません。
6. この取扱いによって、万一紛議が生じましても、貴行（金庫・組合）にはいっさい迷惑をかけません。

以 上

金融機関使用欄

変 更 日 付								
④店 舗 限 度 額			円			円		円
④預 金 の ④合 計 額			円			円		円

（注）新規開設時は記入不要。